

1 安全・安心な受入環境整備の促進

(1) 新型コロナウイルス感染症対策

非接触型ソリューション導入や混雑状況の「見える化」等、各事業所における感染症対策の実施を啓発

(2) 外国人旅行客の利便性向上

多言語対応、キャッシュレス決済の導入、Wi-Fi環境整備等、快適な県内旅行環境の整備を促進

(3) リスクマネジメントに関する情報共有

外国人旅行客とのトラブルや災害発生時の対応等、必要な情報の共有

(4) 現地研修会の開催

アフターコロナ時代を見据えた受入環境整備を実施している事業所の現地視察等、効果的な取組を学ぶ機会の提供

商品造成部会 令和3年度活動報告(案)

<昨年度の振り返り>

1. 長期滞在、リピーター化を促す為の魅力的な旅行商品造成について

- 県公式サイトGoNAGANOに訪日外国人に関心の高い「中山道」「JAPANESEALPS」に関連付けた滞在型、周遊型コンテンツを、県下事業者からのノミネート、且つ機構としての主催商品をラインナップするなど充実化を図った。
- 認知を拡大させるプロモーションまでは十分に行えず、残念ながら集客には結びついていない。

2. アドベンチャーツーリズムの推進

【アドベンチャートラベル・ワールドサミット(ATWS)2021北海道】

- 9月のアドベンチャートラベル・ワールドサミット2021北海道はコロナ禍の影響でバーチャル開催となった。
- 当県で実施予定であったプレサミットアドベンチャー(海外エージェント、メディアを対象とした事前FAMトリップ)も中止。急遽訪問予定であった中山道妻籠宿、木曾御岳修験道(滝行)、諏訪酒蔵、戸隠古道、善光寺をフォーカスしたプロモーション動画を作成、本番の商談会などで活用した。

【商品造成】

- 観光庁&北陸信越運輸局主導の「令和3年度 地域の観光コンテンツを活用したアドベンチャーツーリズムのモデルツアー造成等事業」を採択、「JAPANESE ALPSを核とした広域周遊型AT商品造成事業」に参加し、松本～穂高、白馬～糸魚川、戸隠～野尻湖を周遊するコンテンツ等5つの旅行商品を造成。
- 当該エリアの具体的なガイディングの講習会、専門家によるモニターツアーを実施、BtoB商談会を行った。



(ATWS)2021北海道商談会の様子



造成した旅行商品イメージ

1 NAGANO PASSの取組

(1) NAGANO PASSの販売

在留外国人を販売ターゲットとして広告を実施

(2) 県内鉄道会社による情報交換会開催

※令和元年から取り組んだがコロナウィルス感染症の影響により想定していた販売実績には至らなかったものの、二次交通の課題を解決するためのひとつの大きなチャレンジとなった。事業は令和3年度をもって終了したが、今後は本取組みにより構築した私鉄4社の枠組みを基盤として新たな周遊促進策の検討につなげていく。

2 MaaS 勉強会

(1) まちづくり・交通部会主催にてセミナー開催

○講師:(株)電通国際情報サービス

プロジェクトディレクター 松田延氏によるオンライン講演会

テーマ「訪日外国人向け観光MaaS『くるり奈良』取組について」

○講師:ふろしきや 代表取締役 田村英彦氏によるオンライン講演会

テーマ「温泉MaaSの取組について」

長野県および長野県観光機構のプロモーション情報の共有と参加

1. 各種プロモーションでの連携

- ・インフルエンサー招請（例:タイインフルエンサー招請）
- ・BtoB向けオンラインセミナー・商談会
（例:東南アジア、米国等でのセミナー・商談会への参加、
現地からのライブ配信）
- ・オンラインイベント（例:中国向けスキーPRイベント）
- ・デジタルプロモーション（Go Nagano, JNTOとの連携、他県連携）

2. 海外現地コーディネーター等の現地情報および県・機構のプロモーション 結果の共有

- ・情報発信を通じて会員に周知